

特別展 巡回展「開化期の外国人展」

幕末より明治にかけて神奈川県を中心に活躍し、鉄道・水道・通信・医療など、日本の近代化に寄与した外国人とその事績を、写真・遺物・文献等をもって紹介します。

明治政府は富国強兵、殖産工業を推進するために、欧米の文化、技術を導入すべく多くの「お雇い外国人」を招聘した。とくに開港地横浜ではいち早く彼らの恩恵に浴し、鉄道・水道・通信・医療・教育等のひろい分野にわたる強い影響で、生活が著しく向上され、現在見られるような礎が築かれていった。ここではこのような近代技術をもたらした「お雇い外国人」のうちとくに神奈川県にゆかりのある人々を展示紹介したものである。

テーマおよび出展リスト

(初期の外国人)

シーボルト使用の薬籠、官員録、外国人滞在御届、法規分類大全など。

(鉄道)

絵馬(線路敷設に伴う熊野神社社殿移築工事)、双頭レール、1号汽関車プレート(複製)など。

(水道)

水道共用栓、Letters From the Land of the Rising Sun(Palmer "Japan Mail")1894. など。

(通信)

酒匂川越電信柱の笠木、ブレゲー式指字電信機、

会期 昭和56年2月17日～2月22日

会場 特別展示室 入場無料

アネロイド晴雨計、空盆晴雨計、望遠鏡、油注、伝信機取扱規則、伝信機之布告など。

(軍事)

横須賀製鉄所一件書類、煉瓦(ヨコスカ製鉄所銘)、横須賀造船所経営の事など。

(産業)

裸火ストーブ、ジェラルル瓦、改正横浜案内絵図など。

(医療)

生物顕微鏡、各種解剖器械、横浜病院規則、横浜病院晒氏薬法、遊女病院規則など。

(自然科学)

オキナエビス標本、シャミセンガイ標本など。

(教育)

新約聖書和訳記念のプレート、写真パネルなど。

印刷物

展示リストおよびリーフレット。

